

平成20年度決算について

本学の平成20年度財務諸表について、平成21年7月24日付けで大分県知事の承認を受けたので、ここに公表いたします。

今回の決算は、本学が公立大学法人となって3期目の決算であり、この財務諸表は企業会計原則を基本とし、公立大学法人特有の会計処理方法を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成いたしました。

これによると、平成21年3月31日現在の資産合計は、約44億百万円、経常費用合計は約9億7千2百万円、経常収益合計は約10億千2百万円、臨時損益を加えた当期総利益は約5千2百万円となっております。

当期総利益につきましては、中期計画に定めた「教育研究の質の向上及び組織運営の改善」に充てるため積み立てることとして、今般、大分県知事の承認を受けたところであります。

本学の大学運営経費の5割強は大分県からの運営費交付金で賄われておりますが、この運営費交付金については、業務運営効率化の観点から年々減少することが見込まれており、厳しい財政運営が求められます。

今後も更なる教育研究活動の充実・発展のため、より一層の経営努力と業務運営の効率化を図りながら、財務内容の改善充実に努めて参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

平成21年8月18日

公立大学法人大分県立芸術文化短期大学
理事長 中山 欽吾